

平成21年4月15日

“そろばん復権 人気急上昇！…「脳トレ」ブームで再評価”

尼崎市の全小学校ではこの4月からそろばんを使う授業「計算科」がはじまっています。

そろばん検定受験者も増加！

そろばんが注目されているそうです。兵庫県内の珠算検定受験者は毎年約千人ずつ増え、尼崎市が始めたそろばんを使う授業「計算科」も好評で、4月からは市内全校で実施されています。そろばんで集中力や記憶力も養われるとの評価が背景にあり、近年の「脳トレーニング」ブームも追い風になっているようです。



画像は東京おもちゃ美術館の播州そろばんコーナーです。

そろばんを習う児童は少子化や指導者の高齢化で一時、減ったという。しかし、日本珠算連盟の検定は、県内の受験者が2004年度の延べ約16,000人から、07年度は約19,000人に。

全国珠算教育連盟の検定も、同じ期間に3,000人増え、延べ約15,000人となった。両団体とも、尼崎市が04年度に一部の小学校で計算科を導入したことで、そろばんが注目された、とみえています。

計算科の実施校では保護者や児童が、集中力や学習意欲も高まったとアンケートに回答。09年度は文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、尼崎市内全43校で行われています。

珠算教室も増えています。かつて児童減で閉じた教室を再開するケースもあったり、神戸などで学習塾を運営する「クエスト企画」は「中学受験に向けた基礎学力につながる」と、珠算教室も十三カ所で開いています。

05年発売のゲームソフトをきっかけに、計算や音読が脳を活性化させるとする「脳トレーニング」がブームになったことも背景の一つ。神戸珠算協会の理事長は「そろばんの暗算や読み上げ算は、脳トレーニングと同じようなもの。ブームを受け、そろばんの良さが再評価されたのでは」と語っています。

(神戸新聞 平成21年3月30日 掲載記事より抜粋)

小野市の小学校でもそろばんの授業があるようですが、全国の小学校や中学校にも広がればいいですね。私は子供の頃、そろばん教室に無理やり通わされましたが、教室に行かずに遊びまわっていたことを思い出しました…今頃反省しています。せっかくの日本の伝統ですから大切にしたいものです。

[過去一覧](#)

過去の内容をご覧いただける方は左記のボタンをクリックして下さい。

多鹿会計事務所 所員 平戸

[メール](#)

お電話でのお問い合わせは平日午前9時～午後5時まで承っています。

多鹿会計事務所

〒675-1332 兵庫県小野市中町320-8 TEL 0794-62-5666 FAX 0794-64-2037

